



## 平成29年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年11月4日

上場会社名 アイエグループ 株式会社  
 コード番号 7509 URL <http://www.ia-group.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 古川 教行  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理財務部長 (氏名) 岡野 良信  
 四半期報告書提出予定日 平成28年11月11日 相当支払開始予定日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

TEL 045-821-7500  
 平成28年12月6日

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成29年3月期第2四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第2四半期	16,049	△1.7	△170	—	△21	—	△88	—
28年3月期第2四半期	16,325	△0.8	51	△70.9	217	△46.9	101	△57.4

(注) 包括利益 29年3月期第2四半期 △112百万円 (—%) 28年3月期第2四半期 106百万円 (△56.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第2四半期	△11.04	—
28年3月期第2四半期	12.25	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第2四半期	32,046	13,675	42.7
28年3月期	32,000	14,107	44.1

(参考) 自己資本 29年3月期第2四半期 13,675百万円 28年3月期 14,107百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	12.00	—	12.00	24.00
29年3月期	—	12.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	12.00	24.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	35,000	0.4	700	23.6	1,000	9.0	530	18.0	64.68

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 —社 (社名) 、 除外 —社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有  
(注)詳細は、添付資料4ページ「2.サマリー情報(注記事項)に関する事項(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有  
② ①以外の会計方針の変更 : 無  
③ 会計上の見積りの変更 : 無  
④ 修正再表示 : 無  
(注)詳細は、添付資料4ページ「2.サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年3月期2Q	8,226,800 株	28年3月期	10,126,800 株
② 期末自己株式数	29年3月期2Q	354,213 株	28年3月期	1,932,858 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	29年3月期2Q	8,029,011 株	28年3月期2Q	8,307,412 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続きは終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は、添付資料3ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報.....	2
(1) 経営成績に関する説明.....	2
(2) 財政状態に関する説明.....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明.....	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項.....	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動.....	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用.....	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示.....	4
(4) 追加情報.....	4
3. 四半期連結財務諸表.....	5
(1) 四半期連結貸借対照表.....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書.....	7
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書.....	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記.....	10
(継続企業の前提に関する注記).....	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記).....	10
(セグメント情報等).....	10

## 1.当四半期決算に関する定性的情報

### (1)経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、政府の経済政策を背景に緩やかな回復基調で推移しました。しかし、英国のEU離脱に伴う欧州経済の混乱や中国経済の減速懸念等は、その先行きを依然不透明な状況としております。また、個人消費につきましても雇用・所得に改善が見られるものの、その回復は力強さを欠くものとなっております。

そのような中、当社グループにおいては建設不動産事業が増収増益となりましたが、基幹事業であるカー用品事業、ブライダル事業はともに減収減益の結果となりました。

なお、セグメント別の状況は下記の通りとなります。

#### (カー用品事業)

車両販売につきましては、取扱店舗の増設と販売員の増強に尽力し増収が図られました。しかし、商品販売につきましては、ETCなど一部好調な商品もありましたが、前会計年度における冬用タイヤの販売不振が夏用タイヤの履き替え需要の減少となったタイヤをはじめ、総じて前年同期に比べて減収となりました。また、事業税やタイヤ倉庫の家賃の増加等で販売管理費が前年同期より増加し、前年同期に比べ減収減益となりました。

#### (ブライダル事業)

平成27年3月に東京都港区に開業しましたアルカンシエル南青山は、お客様の認知度の高まりに伴う施行組数の増加で増収が図られました。しかし、一部既存式場における施行組数及び施行単価の減少に伴う減収と、平成28年3月に石川県金沢市に開業しましたアルカンシエル金沢の販売管理費の増加で、前年同期と比べ減収減益となりました。

なお、岐阜県岐阜市のリュクスガーデン岐阜は、平成28年9月に事業譲渡を行っております。

#### (建設不動産事業)

高収益物件の積極的な売却と賃貸稼働率の向上、および提案型による収益性の高い建築工事に注力した結果、前年同期と比べ増収増益となりました。

#### (その他の事業)

前会計年度に神奈川県藤沢市にオープンさせたコマダ珈琲1店舗を加え、コマダ珈琲4店舗が収益に寄与し、前年同期と比べ増収増益となりました。

以上の結果、当連結会計年度の売上高は16,049百万円（前年同期比1.7%減）となり、営業損失につきましては170百万円（前年同期は51百万円の利益）、経常損失につきましては21百万円（前年同期は217百万円の利益）となりました。なお、ブライダル事業におけるリュクスガーデン岐阜の事業譲渡に伴い24百万円の特別利益を、また、カー用品事業の2店舗の閉鎖等に伴う特別損失として21百万円を計上しております。これにより、親会社株主に帰属する四半期純損失は、88百万円（前年同期は101百万円の利益）となりました。

## (2)財政状態に関する説明

## ①資産、負債及び純資産の状況

当連結会計年度における総資産は32,046百万円となり、前連結会計年度末と比べ46百万円増加しました。

## a. 流動資産

流動資産残高は、9,818百万円（前連結会計年度末比468百万円減）となりました。主な減少要因は現金及び預金の減少（262百万円減）であります。

## b. 固定資産

固定資産残高は、22,228百万円（前連結会計年度末比514百万円増）となりました。主な増加要因は、建物及び構築物の減少（478百万円減）がありましたが、建設不動産事業における差入保証金の増加（1,157百万円増）によります。

## c. 流動負債

流動負債残高は、9,216百万円（前連結会計年度末比301百万円増）となりました。主な増加要因は、短期借入金の増加（423百万円増）であります。

## d. 固定負債

固定負債残高は、9,154百万円（前連結会計年度末比176百万円増）となりました。主な増加要因は、長期借入金の増加（305百万円増）であります。

## e. 純資産

純資産残高は、13,675百万円（前連結会計年度末比432百万円減）となりました。主な減少要因は、自己株式の取得と消却による増加（935百万円増）がありましたが、自己株式の消却に伴う利益剰余金の減少（1,157百万円）によるものであります。

自己資本比率は、42.7%となり前連結会計年度末比1.4ポイントの減少となりました。

## ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」）の残高は1,716百万円となり、前連結会計年度末と比べ262百万円減少しました。

## a. 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動による資金は、減価償却費（603百万円）などにより、642百万円の収入（前年同四半期は1,529百万円の収入）となりました。

## b. 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動による資金は、敷金・保証金の差入による支出（1,233百万円）などにより、1,265百万円の支出（前年同四半期は482百万円の支出）となりました。

## c. 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動による資金は、長期借入金による収入（1,200百万円）があったものの、長期借入金の返済による支出（991百万円）などにより、361百万円の収入（前年同四半期は728百万円の支出）となりました。

## (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年3月期の通期の連結業績予想につきましては、平成28年5月13日の発表から変更しておりません。

なお、当社グループはカー用品事業においては冬季商品が、ブライダル事業は10月、11月がブライダルのオンシーズンとなるなど、第3四半期会計期間の業績が通期業績に占める比重が大きい傾向を有しております。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。なお、法人税等調整額は法人税等を含めて表示しております。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を第1四半期連結会計期間より適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は、僅少であります。

### (4) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日。以下「回収可能性適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,029,077	1,766,842
売掛金	1,157,567	1,012,868
たな卸資産	6,084,449	6,005,876
繰延税金資産	333,514	333,514
その他	682,747	699,144
貸倒引当金	△365	-
流動資産合計	10,286,992	9,818,247
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	9,311,947	8,832,965
土地	5,131,697	5,131,697
建設仮勘定	-	432
リース資産(純額)	241,277	208,885
その他(純額)	569,998	491,652
有形固定資産合計	15,254,920	14,665,632
無形固定資産		
電話加入権	7,784	7,476
のれん	263,721	220,950
その他	116,692	153,735
無形固定資産合計	388,198	382,162
投資その他の資産		
投資有価証券	192,102	157,234
長期貸付金	22,967	22,895
長期前払費用	420,903	390,913
差入保証金	4,366,888	5,524,811
繰延税金資産	956,084	965,554
その他	134,452	142,146
貸倒引当金	△22,967	△22,895
投資その他の資産合計	6,070,431	7,180,658
固定資産合計	21,713,550	22,228,453
資産合計	32,000,542	32,046,701

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1,293,641	1,457,628
短期借入金	4,022,044	4,445,081
リース債務	85,968	70,682
未払法人税等	268,565	109,220
未払消費税等	397,831	112,821
未成工事受入金	75,257	67,159
賞与引当金	397,592	419,697
役員賞与引当金	48,000	-
ポイント引当金	192,408	208,263
繰延税金負債	66,210	65,442
その他	2,067,905	2,260,996
流動負債合計	8,915,425	9,216,993
固定負債		
長期借入金	5,791,826	6,097,767
リース債務	164,904	142,149
長期預り保証金	1,276,078	1,127,643
退職給付に係る負債	387,549	397,911
役員退職慰労引当金	250,000	275,000
資産除去債務	1,086,637	1,094,407
繰延税金負債	16,934	16,934
その他	3,450	2,475
固定負債合計	8,977,381	9,154,287
負債合計	17,892,806	18,371,281
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,314,100	1,314,100
資本剰余金	1,824,791	1,824,791
利益剰余金	12,102,356	10,757,716
自己株式	△1,177,716	△241,803
株主資本合計	14,063,530	13,654,804
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	46,600	22,333
繰延ヘッジ損益	△2,395	△1,718
その他の包括利益累計額合計	44,205	20,615
純資産合計	14,107,736	13,675,420
負債純資産合計	32,000,542	32,046,701

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
売上高	16,325,582	16,049,380
売上原価	9,214,452	9,184,400
売上総利益	7,111,129	6,864,979
販売費及び一般管理費	7,059,727	7,035,173
営業利益又は営業損失(△)	51,402	△170,194
営業外収益		
受取利息及び配当金	16,219	15,648
受取手数料	44,101	36,555
受取家賃	59,164	55,916
その他	87,540	76,192
営業外収益合計	207,025	184,313
営業外費用		
支払利息	27,720	23,716
その他	13,230	11,430
営業外費用合計	40,951	35,147
経常利益又は経常損失(△)	217,477	△21,028
特別利益		
事業譲渡益	-	24,981
固定資産売却益	124	-
特別利益合計	124	24,981
特別損失		
固定資産除却損	97	5,537
リース解約損	-	2,537
減損損失	-	13,903
特別損失合計	97	21,978
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	217,503	△18,025
法人税等	115,745	70,591
四半期純利益又は四半期純損失(△)	101,758	△88,616
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	101,758	△88,616

## (四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	101,758	△88,616
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	4,691	△24,267
繰延ヘッジ損益	205	677
その他の包括利益合計	4,896	△23,589
四半期包括利益	106,655	△112,206
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	106,655	△112,206

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	217,503	△18,025
減価償却費	661,623	603,080
減損損失	-	13,903
のれん償却額	42,771	42,771
引当金の増減額 (△は減少)	43,517	24,885
受取利息及び受取配当金	△16,219	△15,648
支払利息	27,720	23,716
事業譲渡損益 (△は益)	-	△24,981
売上債権の増減額 (△は増加)	21,167	144,698
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△250,607	78,504
仕入債務の増減額 (△は減少)	311,214	163,986
その他	421,493	△147,596
小計	1,480,184	889,294
利息及び配当金の受取額	2,800	2,642
利息の支払額	△27,572	△23,605
法人税等の支払額	△102,256	△259,931
法人税等の還付額	176,290	33,869
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,529,446	642,269
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△473,205	△22,987
有形固定資産の売却による収入	414	-
無形固定資産の取得による支出	△15,155	△53,876
投資有価証券の取得による支出	△224	△75
貸付金の回収による収入	7,095	1,071
長期前払費用の取得による支出	△5,650	△7,000
差入保証金の差入による支出	△47,107	△1,233,631
差入保証金の回収による収入	52,036	37,065
定期預金の預入による支出	△50,000	△50,000
定期預金の払戻による収入	50,000	50,000
事業譲渡による収入	-	21,559
その他	△459	△7,716
投資活動によるキャッシュ・フロー	△482,255	△1,265,589
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△350,000	520,000
長期借入れによる収入	750,000	1,200,000
長期借入金の返済による支出	△877,739	△991,022
配当金の支払額	△101,181	△98,544
その他	△149,805	△269,348
財務活動によるキャッシュ・フロー	△728,726	361,085
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	318,464	△262,235
現金及び現金同等物の期首残高	1,324,663	1,979,077
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,643,128	1,716,842

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

前第2四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額(注)3
	カー用品 事業	ブライダル 事業	建設不動産 事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	10,043,617	5,066,660	1,021,796	16,132,074	193,507	16,325,582	—	16,325,582
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,181	—	140,357	142,538	649,866	792,404	△ 792,404	—
計	10,045,798	5,066,660	1,162,154	16,274,613	843,373	17,117,986	△ 792,404	16,325,582
セグメント利益又は損失(△)	118,169	△ 172,296	139,385	85,258	△ 39,174	46,084	5,318	51,402

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、飲食事業及び経理・総務代行業務等を含んでおります。

2. セグメント利益調整額は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額(注)3
	カー用品 事業	ブライダル 事業	建設不動産 事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	9,836,369	4,872,028	1,120,254	15,828,652	220,728	16,049,380	—	16,049,380
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,142	50	116,112	118,305	695,982	814,287	△ 814,287	—
計	9,838,512	4,872,078	1,236,367	15,946,957	916,710	16,863,667	△ 814,287	16,049,380
セグメント利益又は損失(△)	△ 100,824	△ 272,023	156,265	△ 216,582	42,287	△ 174,294	4,100	△ 170,194

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、飲食事業及び経理・総務代行業務等を含んでおります。

2. セグメント利益調整額は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「カー用品事業」において、店舗資産(1店舗)の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、13,903千円です。